

令和7年度施設関係者評価会

幼保連携型認定こども園神戸女子大学附属高倉台幼稚園

日 時
場 所
内 容

令和7年12月15日（月） 10:30~11:30

高倉台幼稚園 1F 応接室

保育参観

はじめのあいさつ

参加者の紹介

石田 裕子	神戸女子大学教育学科准教授
上野 昌稔	神戸女子大学特任教授
中川 欣子	神戸女子大学講師
小林 未奈子	高倉台幼稚園父母の会 会長
木村奈帆子	高倉台幼稚園園長
濱田 恵	高倉台幼稚園主幹
久郷 真美	高倉台幼稚園主幹

本園の取り組み説明

- ・本園の教育目標「やさしい心をもち、主体的に行動する子どもを めざして」
- ・今年度の努力目標「気持ちを込めてあいさつしよう 話を聴く やってみよう！ 考えよう！」
- ・1学期保護者アンケート及び自己評価について

意見交換及び評価

- ・先生達が笑顔で挨拶をしてくださり、子ども達もいつも明るく朗らかである。また、子ども達の友達の話に耳を傾ける力やチャレンジしてみようと思う気持ちが素晴らしい。
- ・ゆったり穏やかな雰囲気、楽しそうに過ごしている子どもが多い。保育者は子どもの姿に応じて声掛けをしている。
- ・子ども達がある程度の自由感の中で生活している。また、子ども達から挨拶をしている姿があり、来園時は気持ちがよい。挨拶の意味についても指導されている。
- ・子ども達がお互いを尊重し合い、個々により関係が築けている。また、多様な子どもがいる中、心理的に不安にならないような環境があり、集団として高め合っている。
- ・保育目標の「やさしい心をもち」は、どのようなことをすればよいのかイメージがつかみにくい。
- ・行事に参加させていただくと、子ども達が力と心を合わせることで大きな力となり感動が生まれているのが感じられる。子ども達の成長が著しく、保護者も幸せだなと感じる。
- ・保護者アンケートでは、多くの保護者の方が園運営に満足されている。保育者に信頼関係をおいていることが伝わる意見が多い。日頃の関係がよいと思う。
- ・保育記録を書くことは、自分の保育を振り返る大事な時間である。継続していくために15分間で記録できるような内容を決め、チェック式にするなど工夫するのはどうか。
- ・保育内容を視覚化し、保護者に伝えていく。月1回もしくは学期1回は楽しい保育活動や子ども達のかわいい発言などを発信していくのはどうか。
- ・実習は充実していたと感じている学生が多く、学びを得ていることがよく分かる1年であった。各担任は丁寧に指導している。
- ・園庭、保育室、廊下、そして玄関の季節のお花等、気持ちのよい環境だと感じる。

終わりのあいさつ